



メーカー管理用です。

TOTO

密結タンク

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

必ず実施

工事店様へ

水圧不足やフィルターの詰まりがあると吐水、止水不良のおそれがあります。

対応水圧範囲	対応止水栓
0.07MPa(流動時)～ 0.75MPa(静止時)の場合:19L/分	タンク品番 (SP498BAY) 同梱の止水栓
0.05MPa(流動時)～ 0.75MPa(静止時)の場合:19L/分	タンク品番 (SP498BAYT) 同梱の止水栓
0.05MPa(流動時)未満の場合	洗浄不具合等のおそれがあるため、水圧の確保をお願いします。

■設置前に水圧を測定ください。

最低必要水圧:0.07MPa(19L/分流動時)が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことや止水不良になることがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。

注1:洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。

注2:配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水圧と流量の確保のため)

※タンク品番SP498BAYにおいて最低必要水圧に満たない場合 低水圧用止水栓THF36RA(別売品)とセットすると0.05MPa(19L/分流動時)以上であれば設置可能になります。

〈バケツによる簡易測定方法〉

10秒間水を入れて
水量を計る

既設止水栓で、下表の水量があれば同梱の止水栓で
対応できます。

既設止水栓の種類	SP498BAYの場合	SP498BAYTの場合
アングル形	4.5L以上 ※1	4.3L以上
ストレート形	4.0L以上 ※1	3.8L以上

※1 上表の水量に足りなくても、アングル形で4.3L以上またはストレート形で3.8L以上の水量があれば、低水圧用止水栓THF36RA(別売品)で設置可能になります。

補助バケツを
用意してください

〈水圧測定専用治具による測定方法〉

HH15003(別売品)を利用する。
(HH15003に止水栓は含まれておりません)

〈既設の便器がフラッシュバルブ式の場合〉
上記HH15003および耐水圧測定用治具接続アダプターHH07112をご使用ください。

※品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■試運転後、給水フィルターの掃除をしてください。

水たまり面の低下・水量変更について

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

※低下すると汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下した場合と、自治体によって洗浄水量の規制がある場合は、P.5～P.8の設定変更にて対応してください。

給水管のエア抜きについて

新築・改修工事後や、水道断水復旧後は、給水配管中に空気の混入が考えられますので、空気抜き弁を取り付けるなど、必ず空気が管内に残らないように配慮してください。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

タンク	固定ナット	極低頭ボルト	バックン
(1個)	(2個)	(2個)	(1個)
止水栓	施工説明書	取扱説明書	開閉工具
(1セット)	※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。	(1部)	(1個)
		※設置工事完了後、お客様にお渡しください。	

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	----------------------------------	--	---------------------------------------

注意

禁止

- 陶器に強い力や衝撃を与えない
陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない
給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない
止水栓を開けないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

- 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する
正常な取り付けができなくなる可能性があります。
- 設置工事は、この説明書に従って確実に行う
故障や水漏れの原因になります。

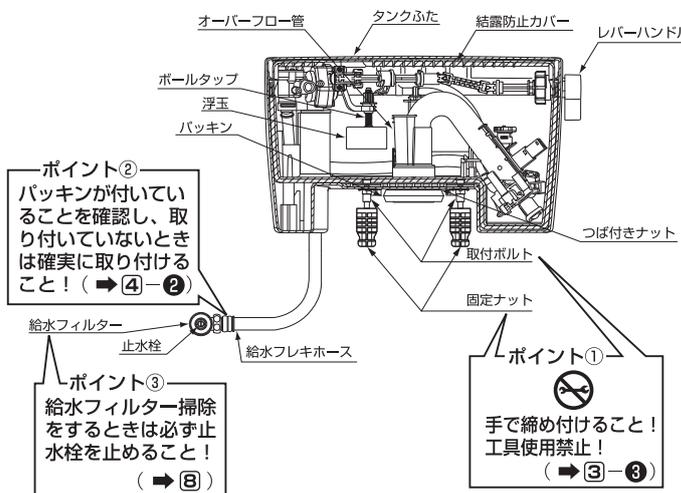
使用工具 (別途ご準備ください)

六角棒スバナ(呼び径2)



各部のなまえと施工のポイント

工具使用禁止 止水栓・レバーハンドル・ふた固定以外は工具は必要ありません!
手で締め付けてください。



※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

給水位置の確認

△注意

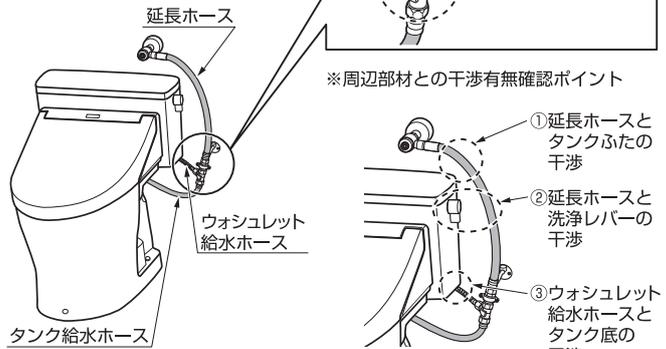
- 禁止** 給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。
- 必ず実行** 止水栓は横壁面・床面から40mm以上離して取り付ける
すき間が小さいとメンテナンスに必要な空間が確保できなくなります。

標準 標準施工範囲 延長用フレキホース施工範囲
ストレート止水栓交換 便器前出し60mm施工範囲

<壁 A>
FVおよびC14・21系と隅付ロータンクS536、S570、S670などがセットされているトイレからの取替の場合には、延長用フレキホースをご使用ください。
<壁右給水R560～R850の範囲> 延長用フレキホースをご使用ください。
<壁左給水R450～R800の範囲> 延長用フレキホースをご使用ください。

※ウォシュレットを設置する場合は分岐管にタンク給水ホース・ウォシュレット給水ホースを仮組し、**周辺部材と干渉しない位置**に中継アダプター固定位置を調整ください。

<延長用フレキホースの接続例>



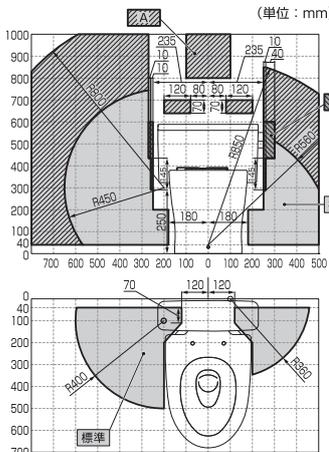
※周辺部材との干渉の有無確認ポイント

- ① 延長ホースとタンクふたの干渉
- ② 延長ホースと洗浄レバーの干渉
- ③ ウォシュレット給水ホースとタンク底の干渉

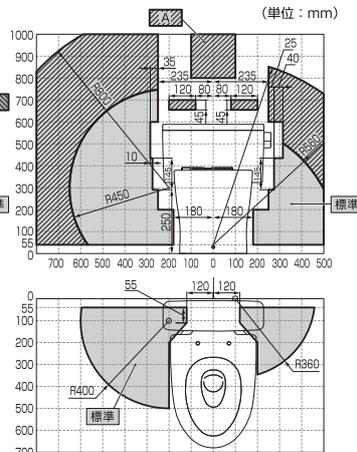
<壁 B>

既設の給水ホース位置が上図 Bにある場合には、取替用止水栓品番 THF37を別途手配いただくことになります。
※ B: タンクとの干渉を避けるために、タンクの背面と壁との距離を約60mm以上確保してください。

【SP498BAY同梱の止水栓を使用した場合】



【SP498BAYT同梱の止水栓またはTHF36RA(別売品)を使用した場合】



・右給水の場合や給水ホースの不足がある場合、長さ違いの給水ホースをご購入ください。

標準の範囲が標準です。同梱の給水ホースをご使用ください。

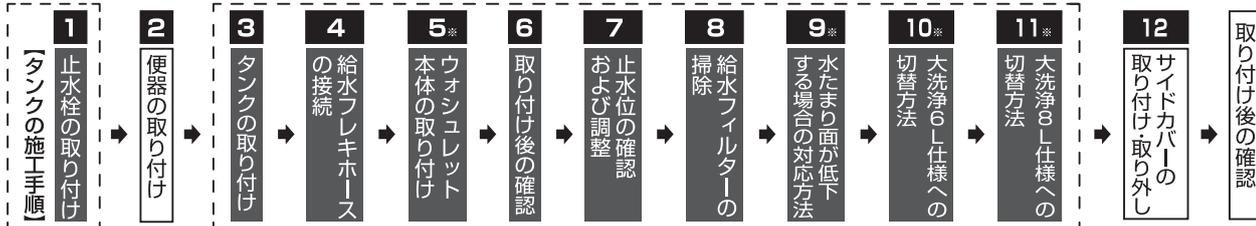
Aの範囲の場合は、給水延長用フレキホース(400mm)HH08034を使用してください。

※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。

給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

施工手順

この施工手順に従ってタンク・便器を正しく取り付けください。(■は本紙、□は便器の施工説明書を参照ください)

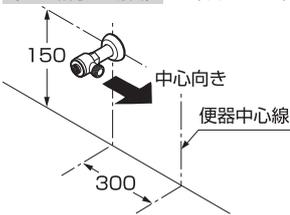


※対象の場合のみ実施

取付方法

1 止水栓の向き

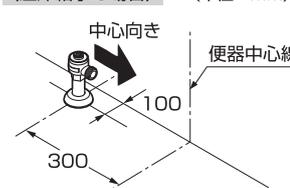
<左壁給水の場合> (単位: mm)



<右壁給水の場合>

右給水の場合は、便器中心線に対し、左壁給水と対称になるように施工してください。

<左床給水の場合> (単位: mm)



<右床給水の場合>

右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。
設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる吐水、止水不良を起こすおそれがあります。

※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

※壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付くように、止水栓の接続口の向きを調節してください。

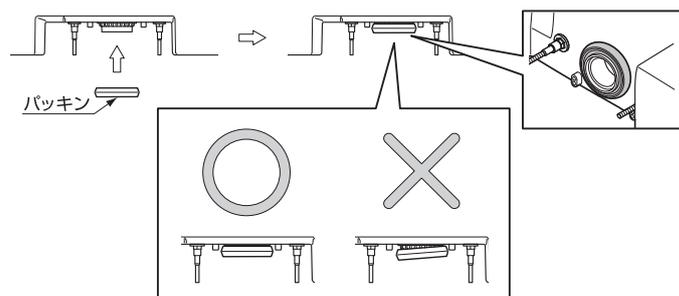
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

2 便器の取り付け

排水ソケットに同梱の施工説明書に従い、便器を取り付ける。

3 タンクの取り付け

- 1 フラッシュタンクにパッキンを取り付ける。
※パッキンを湿らせると、取り付けやすくなります。



△注意

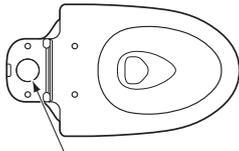
- 同梱のパッキンを上図のように取り付ける
- パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する
正しく取り付けないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

取付方法

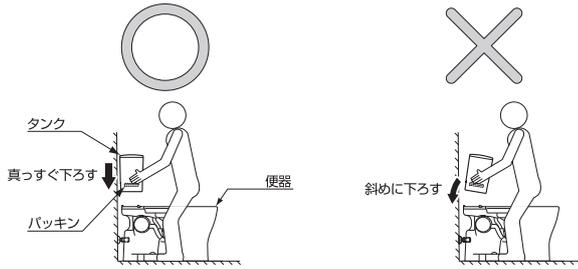
3 タンクの取り付け (つづき)

- ② タンクを便器に取り付ける。
便器給水口周辺のごみなどを完全に取除いたあと、タンクを便器に取り付けてください。



便器給水口周辺のごみを取り除く

下図のようにタンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。
※パッキンが落下した場合は再度タンクに取り付けてください。



⚠️ 注意	
🚫 禁止	タンクを斜めに下ろさない パッキンが正常に取り付かずシール不良となり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
❗️ 必ず実行	パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く 水漏れするおそれがあります。

- ③ 固定ナットでタンクを固定する。

⚠️ 注意	
❗️ 必ず実行	左右の固定ナットを確実に締める 左右の固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	左右の固定ナットは片側を一度に締め付けない 固定ナットは、左右交互に数回に分けてできるだけ均等に締め付けないと、タンクが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

固定ナットを手締めで回らなくなるまでたく締め付けます。

※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



注意 固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

4 給水フレキホースと止水栓の接続

- ウォシュレットを取り付ける場合は、ウォシュレット同梱の分岐管を止水栓に接続する。
- 給水フレキホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。
- パッキンを右図の位置に必ず組み込む。



5 ウォシュレット本体の取り付け (ウォシュレットを取り付ける場合のみ)

・ウォシュレットの取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従い取り付けてください。

〈ホースの取り回し方〉

ウォシュレットの電源コードと給水ホースは、タンクの下を通して便器裏で取り回してください。

- ウォシュレットを便器の上に仮置きする
※ベースプレートには固定しない
- 給水ホースと電源コードをタンクの下に通す
- 給水ホースと電源コードを便器裏で取り回す
- ウォシュレットを後方へスライドさせて便器のベースプレートに固定する

ウォシュレットの電源コードと給水ホースを、便器裏で取り回していない。

6 取り付け後の確認

- 止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
 - 2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ※洗浄した際、約30秒程度水が流れます。止水不良ではありません。
- タンク内に水が満水にならないと洗浄できません。

正常な状態

設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)

正常な水たまり面

この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。
(水たまり面を正常な状態にすることができます)

水たまり面が低い

この面(斜線部分)まで水がたまっていない

設定変更の仕方は「⑨ 水たまり面が低下する場合の対応方法」をご確認ください。

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

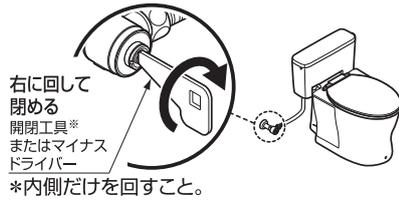
排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

取付方法

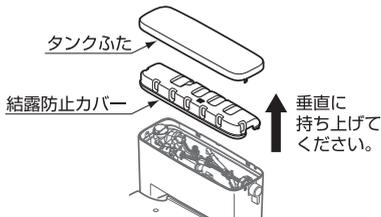
7 止水位の確認および調整

① 止水栓を閉めて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

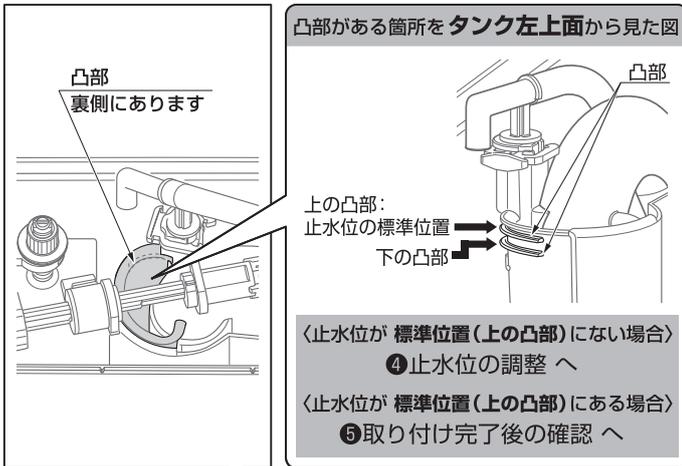


② タンクふたと結露防止カバーを外す。



注意
タンクふた、結露防止カバーを床に置かれる際は、養生シートの上に置いてください。タンクふた、結露防止カバーに傷がつくおそれがあります。

③ 止水位の位置を確認する。



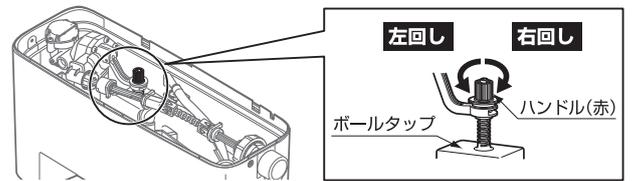
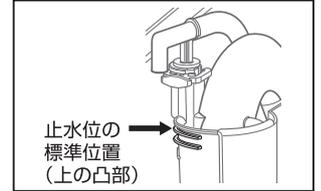
④ 止水位の調整を行う。(止水位が標準位置上の凸部でない場合)

(1) 止水栓を開く。



(2) ボールタップ部のハンドル(赤)を回し、止水位を標準位置に確実にあわせる。

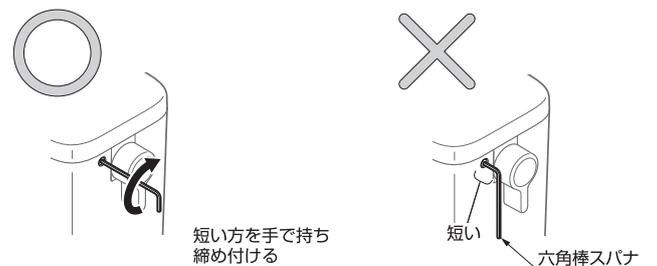
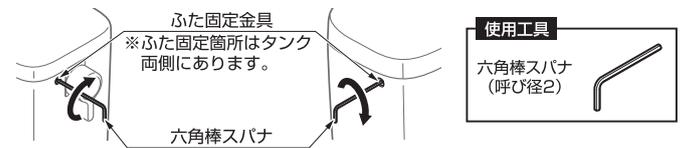
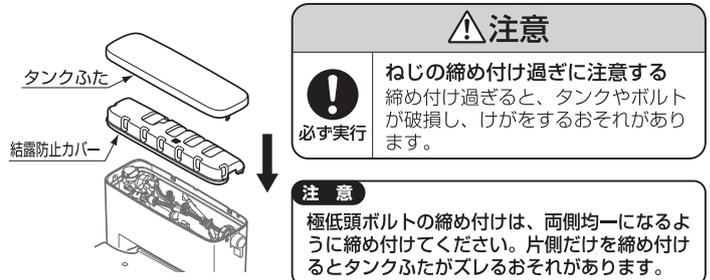
止水位を
上げる場合：上方より見て左回し
下げる場合：上方より見て右回し



⑤ 取り付け完了後の確認をする。

- ・止水栓が開いていることを確認し、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・正常に洗浄するか確認する。
- ・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

⑥ 結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。



試運転後の確認事項

8 給水フィルターの掃除

給水フィルターの掃除をしてください。
フィルターの詰まりがあると吐水、止水不良のおそれがあります。

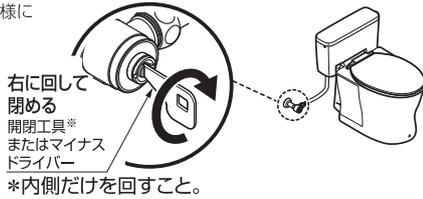
⚠注意

給水フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る
手順を守らないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
給水フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の
水を流してから行う
水圧で給水フィルターが飛び出すことがあります。
給水フィルターは確実に締める
確実に締めないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

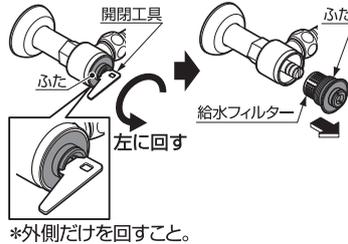


必ず実行

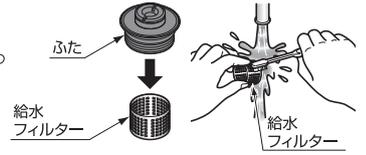
- 1 止水栓を閉めて給水を止める。
※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



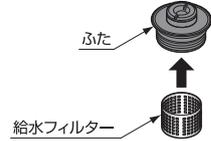
- 2 給水フィルターのふたを開閉工具で
開けて、給水フィルターを取り出す。



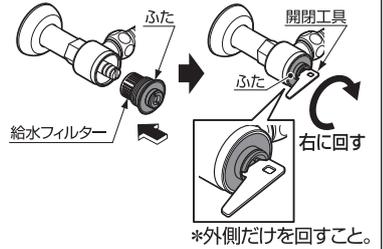
- 3 給水フィルターをふたから取り外し、
掃除をする。
※小さなゴミは、歯ブラシなどを使っ
て確実に取り除いてください。



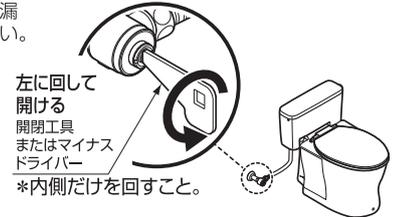
- 4 給水フィルターをふたに取り付ける。



- 5 給水フィルターを元の位置に取り付
け、ふたを開閉工具で締め付ける。



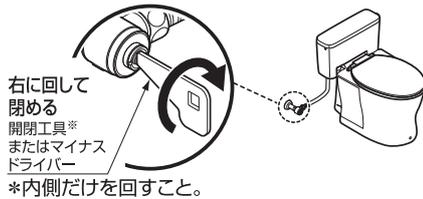
- 6 止水栓を開ける。
※止水栓および配管接続部から水漏
れしていないか確認してください。



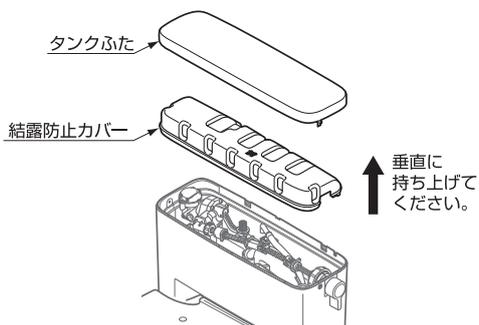
※試運転後、タンク内に異物がないことを確認してください。
異物があると吐水、止水不良のおそれがあります。

9 水たまり面が低下する場合の対応方法

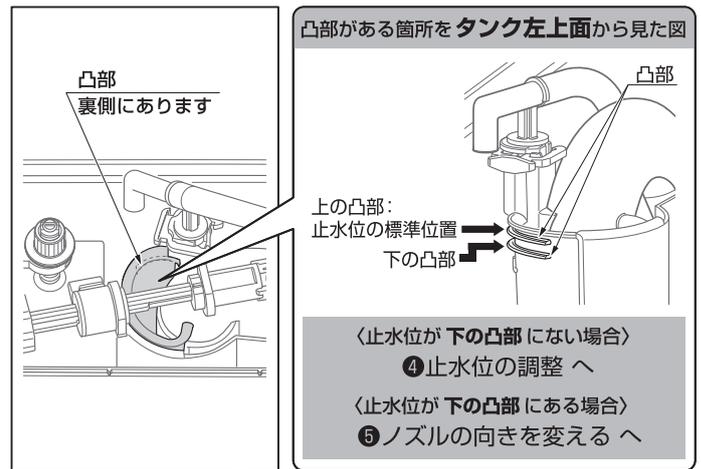
- 1 止水栓を閉めて給水を止める。
※付属の開閉工具をご使用く
ださい。作業が完了したら、
必ずお客様にお渡ししてく
ださい。



- 2 ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。



- 3 止水位の位置を確認する。

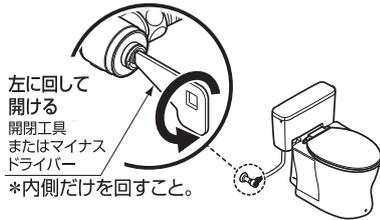


試運転後の確認事項

9 水たまり面が低下する場合の対応方法 (つづき)

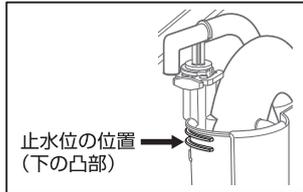
④ 止水位の調整を行う。(止水位が下の凸部がない場合)

(1) 止水栓を開く。



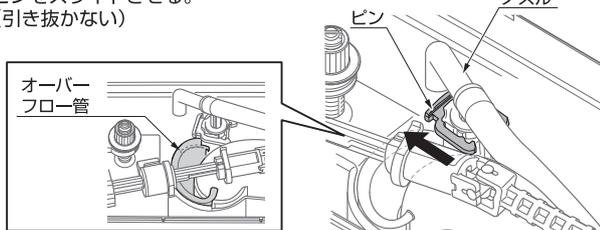
(2) ボールタップ部のハンドルを回し、止水位を下の凸部に確実にあわせる。

止水位を
上げる場合：上方より見て左回し
下げる場合：上方より見て右回し

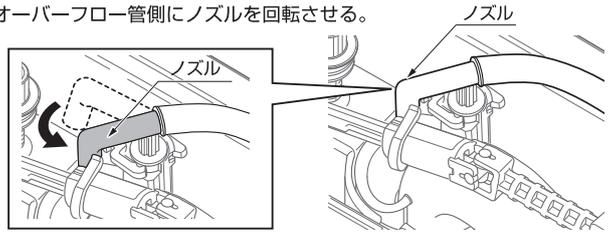


⑤ ノズルから出る水をオーバーフロー管の中に入れるため、ノズルの向きを変える。

(1) ピンをスライドさせる。(引き抜かない)

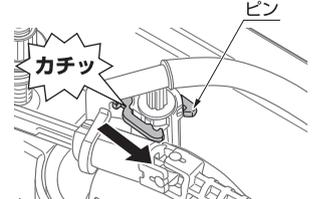


(2) オーバーフロー管側にノズルを回転させる。



(3) ピンをスライドさせ、固定する。

*ピンは「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



上記の方法により、低い水たまり面に水が補給され(約400mL程度)、正常な状態に戻ります。

⑥ 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓が開いていることを確認し、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

⑦ 結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。

⚠ 注意

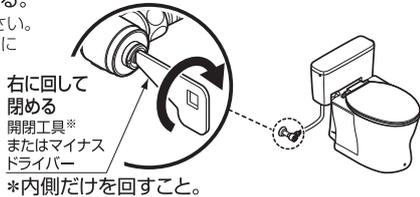
! ねじの締め付け過ぎに注意する
締め付け過ぎると、タンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注意
極低頭ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズルおそれがあります。

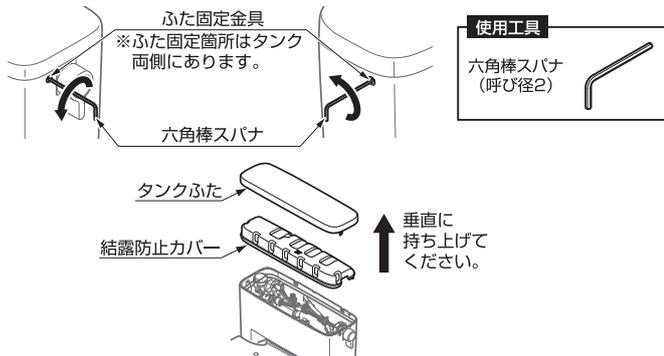
10 大洗浄6L仕様への切替方法

① 止水栓を開けて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



② ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。

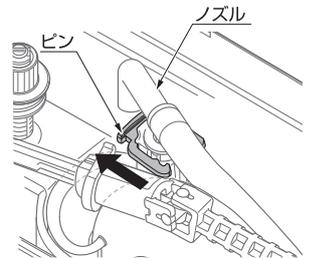


③ 止水位の位置を調整する。

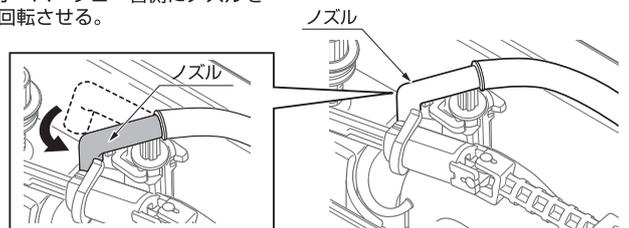
調整方法は⑦-③に従って作業してください。

④ ノズルの向きを変える。

(1) ピンをスライドさせる。(引き抜かない)



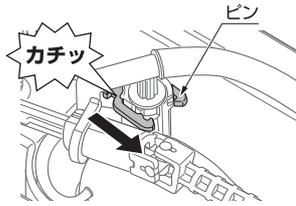
(2) オーバーフロー管側にノズルを回転させる。



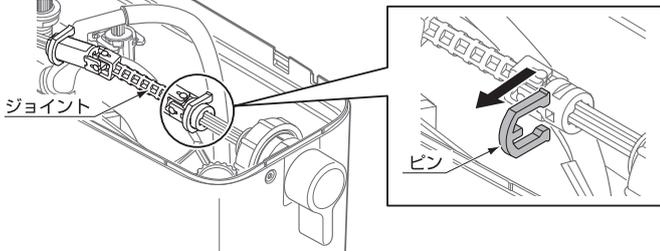
試運転後の確認事項

10 大洗浄6L仕様への切替方法(つづき)

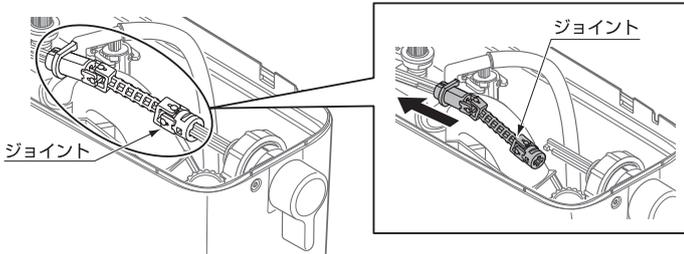
- (3) ピンをスライドさせ、固定する。
※ピンは「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



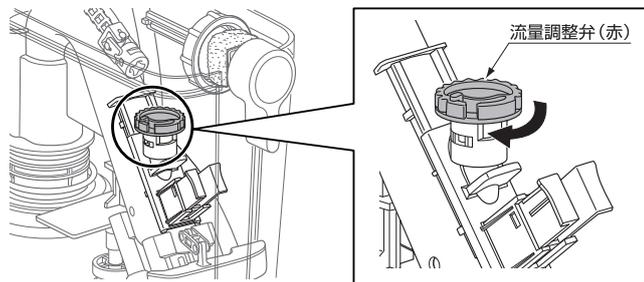
- ⑤ 流量調整弁(赤)の調整を行う。
(1) ジョイントの“ピン”を取り外す。



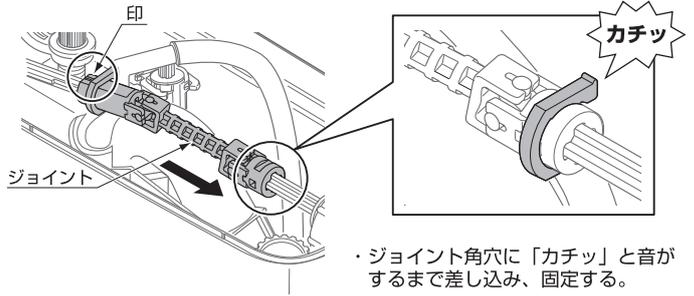
- (2) ジョイントを取り外す。



- (3) 流量調整弁(赤)を突き当たるまで右に回転させる。



- (4) ジョイントを(1)～(2)と逆の手順で取り付ける。
・ジョイント奥の印を上にして差し込む。

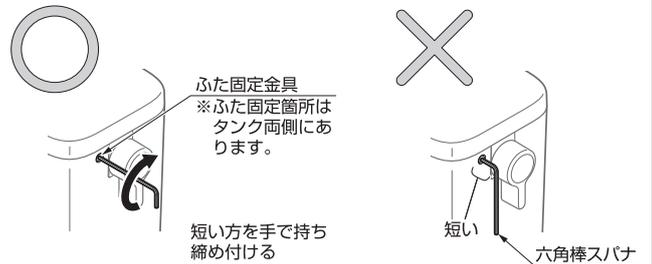
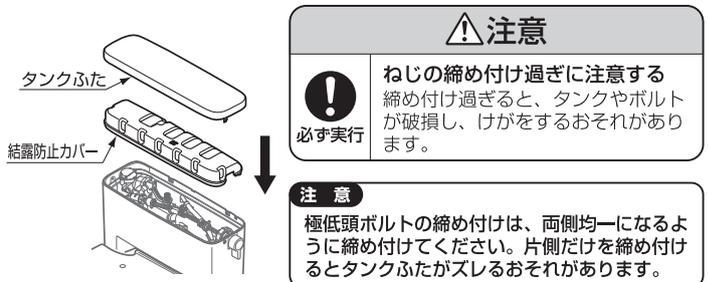


- ・ジョイント角穴に「カチッ」と音がするまで差し込み、固定する。

- ⑥ 取り付け完了後の確認をする。

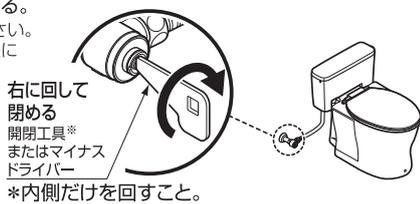
- ・止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・正常に洗浄するか確認する。
- ・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

- ⑦ 結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。

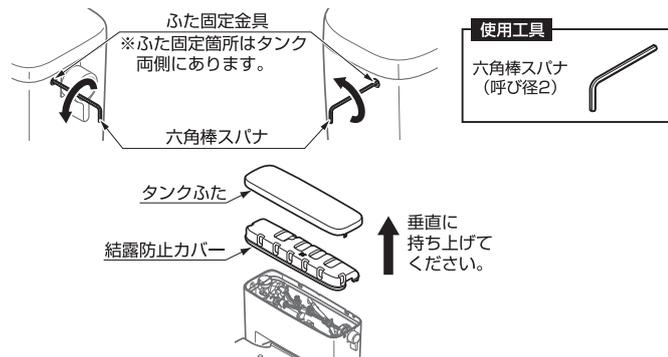


11 大洗浄8L仕様への切替方法

- ① 止水栓を開けて給水を止める。
※付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



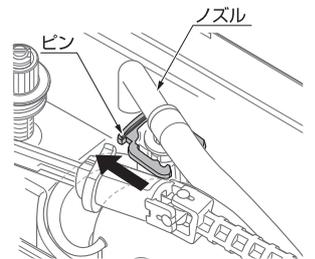
- ② ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。



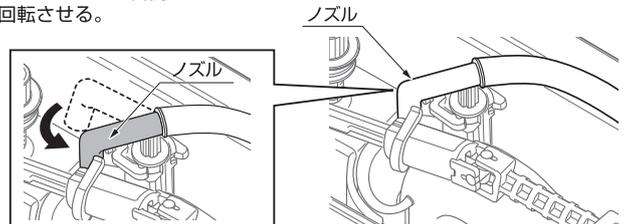
- ③ 止水位の位置を調整する。

調整方法は⑦-③に従って作業してください。

- ④ ノズルの向きを変える。
(1) ピンをスライドさせる。(引き抜かない)



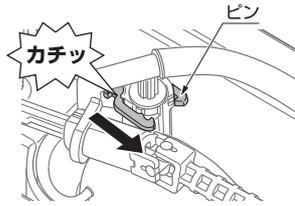
- (2) オーバーフロー管側にノズルを回転させる。



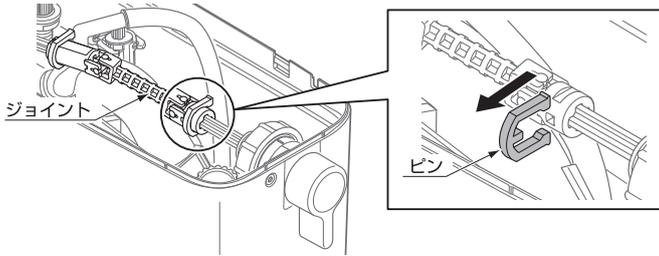
試運転後の確認事項

11 大洗浄8L仕様への切替方法 (つづき)

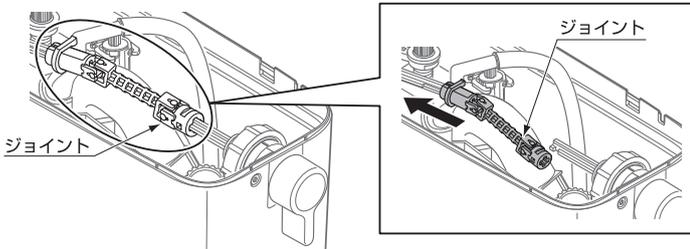
- (3) ピンをスライドさせ、固定する。
※ピンは「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



- ⑤ 流量調整弁 (赤) の調整を行う。
(1) ジョイントの“ピン”を取り外す。

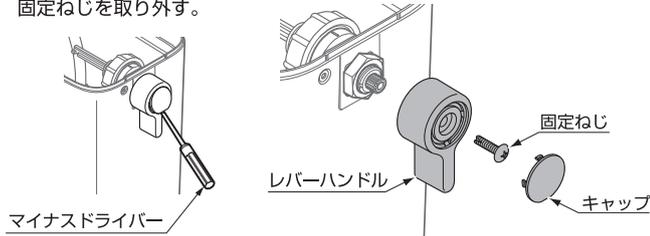


- (2) ジョイントを取り外す。

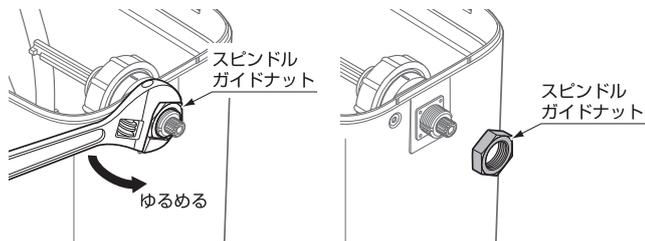


- (3) レバーハンドルとスピンドルガイドを取り外す。

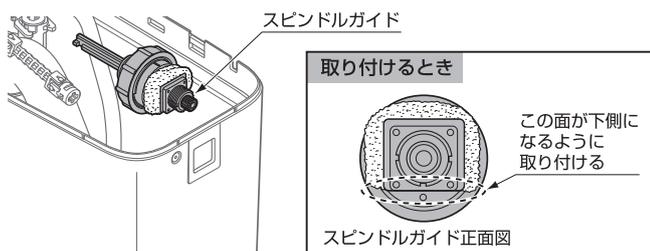
- ① レバーハンドルのキャップを取り外し、固定ねじを取り外す。



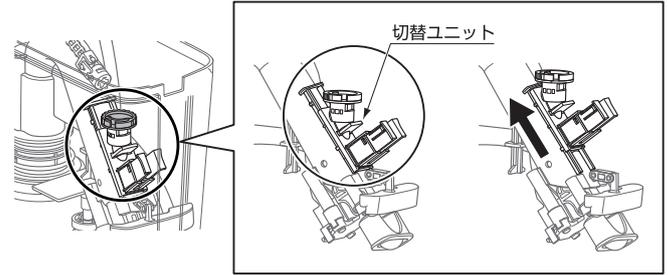
- ② スピンドルガイドナットを取り外す。



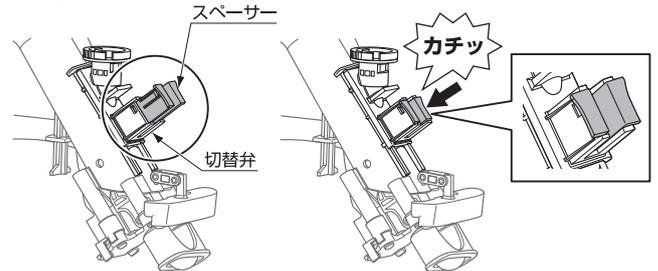
- ③ スピンドルガイドを取り外す。



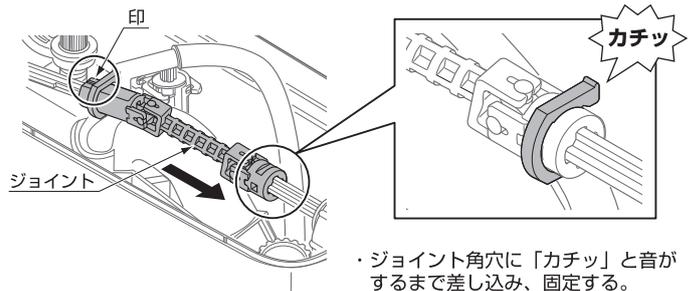
- (4) 切替ユニットを矢印の方向に突き当たるまでスライドする。



- (5) スペーサーを押し込み、切替弁の面とスペーサーの面が揃ったことを確認する。



- (6) ジョイントとレバーハンドルを (1) ~ (3) と逆の手順で取り付ける。
・ジョイント奥の印を上にして差し込む。



- ⑥ 取り付け完了後の確認をする。

- ・止水栓が開いていることを確認し、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・正常に洗浄するか確認する。
- ・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

- ⑦ 結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。

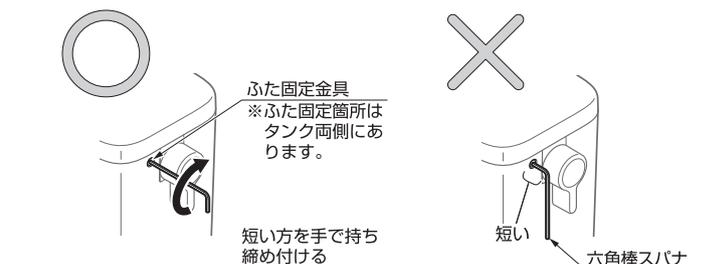
⚠️ 注意

❗ **必ず実行**

ねじの締め付け過ぎに注意する
締め付け過ぎると、タンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注意

極低頭ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズれるおそれがあります。



12 サイドカバーの取り付け・取り外し

排水ソケットに同梱の施工説明書に従い、サイドカバーを取り付ける。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。